

令和7年度 全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画

呉市立郷原中学校
(郷原中学校区)

全国平均値との差

	国語	数学
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+5.0	+5.0
令和8年度	-	-
令和7年度	+4.7	-1.3
令和6年度	+1.9	+4.5
令和5年度	+6.2	+3.0
令和4年度	+4.0	+0.6

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

<p>国語</p> <p>本校 <u>59.0 %</u> 全国 <u>54.3 %</u> 県 <u>55.0 %</u></p>	<p>重点課題</p> <p>◎同音異義語の正しい選択に課題がある。(設問1—全国平均との差-7.2) 【言葉の特徴や使い方にに関する事項】(本校平均正答率28.0%)</p> <p>◎スライドを使う意義の理解に課題がある。(設問2—全国平均との差-0.1) 【読むこと】(本校平均正答率38.0%)</p> <p>◎スライドの工夫に課題がある。(設問2四全国平均との差+8.8) 【読むこと】(本校平均正答率32.0%) 的外れの誤答が46%あったことから問題の意味が読み取れていないと考えられる。</p> <p>◇情報と情報を関係付け、資料やICT機器を用いて、自分の考えを表現することに課題がある。</p> <p>改善の方策</p> <p>◎同音異義語・同訓異字などの判別ができるようになる。</p> <p>◎問題の意味を読み取れるように類似問題にとりくむ。</p> <p>◇語句と語句を線でつないだり、図示したりすることによって情報を整理し、考えをまとめることができるようにする。</p> <p>検証</p> <p>◎同音異義語の判別 目標60%→結果70%</p> <p>◎スライド使用の意義・工夫 目標50%→結果54%</p> <p>◇類似問題(12月)の【読むこと】【情報の扱い方に関する事項】の項目の正答率が目標値を上回る。(目標値:小全国平均, 中3正答率50%→結果56%)</p>
<p>数学</p> <p>本校 <u>47.0 %</u> 全国 <u>47.0 %</u> 県 <u>48.3 %</u></p>	<p>重点課題</p> <p>◎素数の意味の理解に課題がある。(設問1—全国平均との差-19.8) 【数と式】(本校正答率12.0%)</p> <p>◎外角の意味の理解に課題がある。(設問3—全国平均との差-16.1) 【数と式】(本校正答率42.0%)</p> <p>◇数学的な用語や表現について理解し、順序立てて計算、説明することに課題がある。【数と式】</p> <p>改善の方策</p> <p>◎数学において出てくる言葉の意味を丁寧に理解させる。</p> <p>◇基準となる数を見出し、数量の関係を捉えさせることや、数学的な用語や表現について知識の習得と習得した知識を活用する活動を行き来しながら理解を深めることができるようにする。</p> <p>検証</p> <p>◎全国学力(設問1)の類似問題(中学校3学年11月) 目標50%→結果55%</p> <p>◎全国学力(設問3)の類似問題(中学校3学年11月) 目標65%→結果65%</p> <p>◇類似問題(12月)の【数と式】の項目の正答率が目標値を上回る。(目標値:小全国平均, 中3正答率75%→結果68%)</p>

【来年度に向けて】

多くの情報の中から取捨選択をし、解答にあった問題を作る機会を設ける。また、学習した内容を比較・分類・整理させ、表現させる機会を多く設定する。その際には、順序だてて分かりやすく説明するためにはどのようにしたらよいか、よりよい方法はないかなどについて考えさせる。